

京都駅周辺 1

近代的な駅ビルから一步出るとそこには1200年の時の流れが

エリアガイド

きょうとえきしゅうへん

京都駅を中心に五条から九条まで、平安京の南半分にあたる、都のいわば下町でもいったところ。五重塔でおなじみの東寺をはじめ平家一門が栄華を誇った六波羅、豪壯な安土桃山の文化をしのばせる遺構など、1200年の歴史が眼前に迫ってきます。三十三間堂や国立博物館、東福寺と泉涌寺など見どころ満載のエリア。

マーク 世界遺産

東寺(教王護国寺)

とうじ(きょうおうこくこじ) P84 P22 3-4A

正しくは教王護国寺という真言宗の寺院。794(延暦13)年に平安京が造営された時、羅城門の東に創建されたと伝わっています。823(弘仁14)年弘法大師空海に下賜され、真言密教の道場となりました。講堂(重文)には平安期の



巨大な仏像(国宝)が並び、天竺様折衷建築の金堂弘法大師像を安置する大師堂。五重塔といずれも国宝です。

【中学】 400円・円 ▶ 200円
【高校】 400円・円 ▶ 280円
所要 40分 時間 8:30 - 17:30(受付終了17:00) 季節により異なる 休み 無休 備考 春と秋の宝物館公開期間は中学生300円、高校生500円。団体割引30名以上 市バス 東寺東門前または東寺南門前または九条大宮 近鉄 東寺 南区九条町1 ☎075-691-3325

西本願寺

にしほんがんじ P22 1-2B

親鸞聖人の末娘、覚信尼が聖人の墓を東山大谷に移し、大谷廟堂を建てたのが始まり。3世覚如の時に本願寺と称し、各地を転々としたが1591(天正19)年に豊田秀吉から現在地を寺領として寄進され、建立したものです。浄土真宗本願寺派の本山。表門正面に立つ大師



堂(御影堂)は国の重文。このほか書院や北能舞台、飛雲閣、唐門など国宝を多く所有しています。

【中学】 無料 【高校】 無料 所要 30分
時間 5:30 - 17:30 季節により異なる
休み 無休 市バス 西本願寺前
下京区堀川通花屋町下ル本願寺門前町 ☎075-371-5181

東本願寺

ひがしほんがんじ P22 1-2C

1602(慶長7)年徳川家康の本願寺分割政策により、全国の末寺・門徒を二分し、教如上人が本願寺(西本願寺)から分かれて独立したのが始まり。浄土真宗大谷派本山。現在の伽藍は、禁門の変(1864)で焼失した後、再建完成したものでほとんどが明治時代のもの。親鸞聖人像を安置する御影堂は927畳もあり本堂とともに世界最大級の木造建築といわれています。



【中学】 無料 【高校】 無料 所要 30分 時間 3 - 10月は5:50 - 17:30(室内は - 16:00) 11 - 2月は6:20 - 16:30(室内は - 16:00) 休み 無休 備考 市バス 丸丸七条 地鉄 京都または五条 JR 京都 下京区丸丸通七条上ル常楽町754 ☎075-371-9181

三十三間堂(蓮華王院)

さんじゅうさんげんどう(れんげあういん) P23 2E

蓮華王院というより本堂(国宝)内陣の柱と柱の間が33あることから、三十三間堂の名で有名。後白河法皇が1164(長寛2)年に平清盛に命じて建立、現在の本堂は1266(文永3)年に再建されたものです。千手観音坐像(国宝)を中

心に1001体の木造千手観音立像(重文)がひな壇状に整然と並び、荘厳な雰囲気をつくり出しています。



【中学】 400円・円 ▶ 350円
【高校】 400円・円 ▶ 350円 所要 30 - 40分
時間 8:00 - 17:00(受付終了16:30) 12/1 - 3/31は9:00 - 16:00 休み 無休 備考 団体割引30名以上 市バス 博物館三十三間堂前または東山七条 京阪 七条 東山区三十三間堂町657 ☎075-525-0033

豊国神社

とよくにじんじや P23 1E

豊臣秀吉は1598(慶長3)年63歳で没し、東山の阿弥陀ヶ峰山頂に葬られ、麓に豊国神社という壮麗な社殿が造営されました。しかし、1615(元和元)年の大坂夏の陣で豊臣家が滅亡すると、徳川家康の命で社殿は取り壊され、その後260年の間荒廃したままでした。現在の社殿は1880(明治13)年に、方広寺の境内に再建されたものです。



【中学】 無料 【高校】 無料 所要 20 - 30分 時間 境内自由(宝物館は8:30 - 16:30) 休み 無休 備考 宝物館拝観は別途料金(中学100円、高校生200円)が必要。団体割引30名以上で2割引 市バス 博物館三十三間堂前 京阪 七条 東山区大和大道正面茶屋町530 ☎075-561-3802

養源院

ようげんいん P23 2E

1594(文禄3)年豊臣秀吉の側室淀君が亡父・浅井長政の追善供養のために建立。後に焼失し1621(元和7)年に淀君の妹で徳川秀忠夫人のお江の苅養源院)が伏見城の遺構を移して再建しました。秀忠の娘、和子は後水尾天皇の中宮、東福門院となり、父母の位牌を安置してしばしば参詣に訪れ、以来徳川歴代將軍の位牌がまつられています。



【中学】 500円・円 ▶ 400円
【高校】 500円・円 ▶ 400円 所要 30分 時間 9:00 - 16:00
休み 1-5・9月の21日午後 備考 団体割引30名以上 団体の場合は予約が望ましい 市バス 博物館三十三間堂前または東山七条 京阪 七条 東山区三十三間堂町656 ☎075-561-3887

涉成園(釈穀邸)

しやうせいゑん(きこくてい) P23 1-2D

真宗東本願寺の別邸。周囲の生垣に釈穀が植えられていたので、釈穀邸とも呼ばれました。江戸初期に3代将軍家光が土地を寄進、本願寺13世宣如上人の隠居所となりました。石川丈山作庭の3万4000㎡の書院式回遊庭園は東山を借景に印月池をめぐって13景の景勝が展開する名園として知られています。

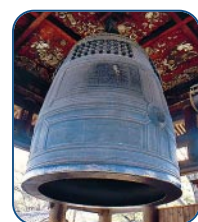


【中学】 志納 500円以上 【高校】 志納 500円以上 所要 30分 時間 9:00 - 16:00(受付終了15:30) 休み 無休 市バス 丸丸七条 地鉄 五条 JR 京都 下京区下数珠屋町通間之町東入ル東玉水町 ☎075-371-9181

方広寺

ほうこうじ P23 1E

豊臣秀吉が奈良の東大寺にならって1595(文禄4)年に大仏殿を建立しましたが地震や火災で崩壊炎上し、豊臣秀頼が再興しました。しかし徳川家康が銅鐘(重文)の銘文中の「国家安康・君臣豊楽」の文字にいいがかりをつけ、豊臣家滅亡を招いた大坂冬の陣のきっかけとなりました。その後大仏殿は、1798(寛政10)年に落雷により焼失。



【中学】 境内無料 【高校】 境内無料 所要 10分
時間 境内自由 休み 無休 備考 団体割引20名以上 市バス 博物館三十三間堂前 京阪 七条 東山区大和大道通七条上ル正面茶屋町527-2 ☎不掲載

智積院

ちしやくいん P23 2E

成田山新勝寺や川崎大師、高尾山薬王院など3000余寺を率いる真言宗智山派総本山。豊臣秀吉が天折した長子の鶴松の冥福を祈って建立した祥雲寺を、徳川家康が紀州(今の和歌山県)根来山智積院に寄進したもので、桃山期の豪華な障壁画(国宝)を収蔵庫で展示しています。



【中学】 200円・円 ▶ 300円
【高校】 200円・円 ▶ 300円 所要 30 - 40分 時間 9:00 - 16:30(受付終了16:00)
休み 無休 備考 団体割引20名以上 市バス 東山七条 京阪 七条 東山区東大路七条下ル東瓦町964 ☎075-541-5361

東福寺

とうふくじ P23 4E

関白九条道家が1255(建長7)年に建立した臨濟宗の大寺で、京都五山の一つ。寺名も奈良の東大寺と興福寺から一字づつとって付けられたといわれています。度重なる火災で堂宇を焼失しましたがその都度再建。室町期の禅僧の生活を知る建築が残っています。通天橋の架かる深谷は紅葉の名所として知られています。



【中学】 300円 【高校】 400円 所要 40分 - 60分 時間 9:00 - 16:30(受付

終了16:00) 季節により異なる 休み 無休 備考 通天橋と開山堂(共通)方丈八相庭園拝観は中学生300円、高校生400円 市バス 東福寺 JR 東福寺 京阪 東福寺 東山区本町15 ☎075-561-0087

泉涌寺

せんいゅうじ P23 4F

平安初期に弘法大師空海が草庵を結び、法輪寺としたのが始まりと伝えられています。1218(建保6)年、月輪大師が再興し、その時清泉が湧き出たことから泉涌寺と寺名を改めました。御寺と呼ばれるほど歴代天皇の御依が厚く、広い寺



域内に14代にわたる天皇陵、后妃、親王の陵舎合わせて25もの陵墓があります。 【中学】 300円 【高校】 500円 所要 30 - 60分 時間 9:00 - 17:00 季節により異なる 休み 無休(宝物館は第4月曜休) 市バス 泉涌寺道 JR 東福寺 京阪 東福寺 東山区泉涌寺山内町27 ☎075-561-1551

羅城門跡

らじょうもんあと P22 4A

羅城門跡は朱雀大路の南端に立つ平安京の正門で、北の朱雀門と相対していました。大風で倒れ、再建されたものの平安中期には荒れるにまかされていた、といわれています。芥川龍之介の小説『羅生門』は、『今昔物語』の『羅城門の上層に登って死人を見し盗人の物語』から題材をとったもので、黒澤明監督の映画の原作ともなりました。



市バス 羅城門 南区唐橋羅城門町花園児童公園内

島原

しまはら P38 P22 2A

幕府に公認された唯一の花街として栄えた島原は、たびたびの移転のあと、1641(寛永18)年ごろに現在の地に移りました。当時の饗宴の様子を伝える遺構としては、最古の揚屋建築といわれる角屋が美術館として一般に公開されています。

市バス 島原口